

19文科ス第140号

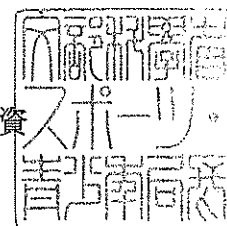
平成19年7月18日

附属学校を置く各国立大学法人学長
各都道府県知事
各都道府県・指定都市教育委員会教育長

殿

文部科学省スポーツ・青少年局長

樋口 修 資



(印影印刷)

第57回全国学校保健研究大会の開催について（案内）

標記の件について、別紙開催要項により開催しますので、関係者の参加についてよろしくお取り計らい願います。

なお、参加申込み等については、香川県教育委員会からの案内により対応くださるようお願いいたします。

また、国立大学法人、私立学校等の参加については、各都道府県教育委員会にて連絡調整願います。

【本件連絡先】

文部科学省スポーツ・青少年局
学校健康教育課 保健指導係
電話：03(6734)2918（直通）

第57回 全国学校保健研究大会開催要項

1 趣 旨

近年、社会の変化に伴い、健康の保持増進の観点から早急に取り組むべき新たな健康課題が指摘されている。とりわけ児童生徒の薬物乱用、性の問題行動、肥満や生活習慣病の兆候、いじめや不登校、感染症等の健康に関する現代的課題が指摘されており、それらの解決が今日の重要な教育課題の一つになっている。また、子どもが被害者となる事件・事故が発生しており、学校安全も課題となっている。

このようなことから、学校においては、家庭や地域との連携を深め、子どもが自ら健康課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に行動できるようにするために「生きる力」をはぐくむ教育を推進する必要がある。

本大会は、多年にわたる研究の成果を踏まえ、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる子どもの育成をめざして、健康教育に関する諸課題について研究協議し、学校保健の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進
～ 自ら健やかな心と体をはぐくむ子どもの育成 ～

3 主 催

文部科学省 香川県教育委員会 高松市教育委員会 財団法人日本学校保健会
独立行政法人日本スポーツ振興センター 香川県学校保健会

4 期 日

平成19年11月8日(木)・9日(金)

5 開催地及び会場

開催地 香川県高松市

会 場 全体会 香川県県民ホール『グランドホール』
(高松市玉藻町9番10号)

課題別研究協議会 香川県県民ホール サンポートホール高松 他

6 内 容

(1) 全体会

ア 開会式

イ 表彰式

ウ 講演

講 師 山 脇 由 貴 子 氏

東京都児童相談センター 心理司

演 題 「現代のいじめとその解決方法 ～今、大人のすべきこと～」

(2) 課題別研究協議会 (別表)

○ 課題に基づいた提案、研究協議、指導助言及び講義を行う。

7 日 程

	9:00	10:00	11:00	11:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
11月8日(木)					一般参加者受付	開会式 表彰式	講演			課題別研究協議会事前打合せ会	
	9:30				受賞者受付		受賞者打合せ会	受賞伝			
11月9日(金)	受付	課題別研究協議会				閉会	全国学校保健協議大会				

8 関係団体が主催する行事

- | | |
|----------------------|----------------|
| (1) 全国学校保健協議大会 | 平成19年11月9日(金) |
| (2) 第38回全国学校保健・学校医大会 | 平成19年11月10日(土) |
| (3) 第57回全国学校歯科医協議会 | 平成19年11月8日(木) |
| (4) 第57回全国学校薬剤師大会 | 平成19年11月8日(木) |

9 参加対象者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校(園)長、教頭、保健主事、保健体育科教諭、養護教諭、安全担当、学級担任、その他関係教職員
- (2) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健・学校安全担当者
- (4) 独立行政法人日本スポーツ振興センター職員及び学校保健会事務局職員
- (5) PTA 会員、その他都道府県・政令指定都市教育委員会で適当と認めた者

第57回 全国学校保健研究大会課題別研究協議会

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と組織活動	心豊かにたくましく生きる力をはぐくむための特色ある学校経営と組織活動の進め方	心豊かにたくましく生きる力を育てるための学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割及び学校、家庭、地域社会が一体となった効果的な組織活動の実施について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 心豊かにたくましく生きる力を育てる学校経営の進め方について 2 保健主事を核として推進する健康教育の在り方について 3 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組みについて
第2課題	保健学習	心身の健康を保持増進するための実践力の育成をめざした保健学習の進め方	生涯を通じて心身の健康を保持増進するためには、健康の大切さを認識し、自らの健康を管理・改善していく資質や能力の基礎としての実践力を培う必要がある。 そのため、ヘルスプロモーションの考え方を生かした効果的な保健学習の進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 資質や能力の基礎としての実践力を育てるための保健学習の教材・教具の開発や指導方法の工夫について 2 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について 3 指導と評価の一体化を図る保健学習の工夫について
第3課題	保健指導	身近な日常生活における健康の問題について自ら考え、解決できるようにするための保健指導の進め方	生涯を通じて心身の健康を保持増進するためには、身近な日常生活における健康の問題を自ら解決していくための実践的能力や態度を育てる必要がある。 そのため、発達段階に応じた保健指導の在り方、進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の実態や現代的な健康の問題に対応した学級活動での保健指導の進め方について 2 自ら健康の問題を解決するための実践的能力や態度を育てる児童(生徒)会活動や学校行事での保健指導の進め方について 3 各教科、総合的な学習の時間等との関連を図った保健指導の計画、実施、評価及び改善について
第4課題	心の健康	豊かな人間性と社会性をはぐくみ、心の健康の保持増進をめざす教育の進め方	児童生徒の心の健康問題は、いじめ、不登校、友人関係の問題、自然災害や事件・事故後の子どもの心のケアなど、複雑・多様化しており、適切な対応が求められている。 そのため、心の健康の保持増進をめざす教育活動の在り方や進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の実態に即した心のケア等の支援や健康相談活動の進め方について 2 心の健康づくりをめざした教育活動の展開と環境整備等の工夫について 3 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第5課題	性・エイズ教育	生涯を通じて健康な生活を営むための資質や能力を育てる性教育の進め方	豊かな人間性をはぐくみ、生涯を通じて健康な生活を営むためには、生命尊重、人間関係の理解等を基盤とした性教育を進める必要がある。 そのため、発達段階に応じた学習や指導の在り方、進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の発達段階に応じた性教育の進め方について 2 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った性教育の指導計画の作成、実施、評価及び改善について 3 学校、家庭及び地域社会が連携した性教育の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者
第1課題	学校経営と組織活動	1 香川県宇多津町立宇多津小学校 校長 鷺 辺 達 子 2 岡山県立岡山操山中学校 副校長 杉 本 尚 平 3 福岡県立八女高等学校 保健主事 吉 岡 千 恵 子	○講 師 千葉科学大学 広報室参与 小 嶋 保 廣 ○指導助言者(コーディネーター) 青森県北津軽郡鶴田町立水元中央小学校 教 頭 原 真 紀
第2課題	保健学習	1 高知県立安芸高等学校 教 諭 川 田 秀 正 2 香川県三豊市立上高野小学校 教 諭 田 井 知 子 3 宮崎県都城市立山之口中学校 教 諭 澤 村 忠 俊	○講 師 筑波大学大学院 准教授 野 津 有 司 ○指導助言者(コーディネーター) 山梨県教育庁スポーツ健康課 指導主事 加賀美 猛
第3課題	保健指導	1 香川県善通寺市立西中学校 養護教諭 井野川 千代子 2 群馬県立桐生高等学校 教 諭 渡 辺 恵 里 3 徳島県徳島市論田小学校 養護教諭 塩 田 恵 子	○講 師 女子栄養大学 教 授 鎌 田 尚 子 ○指導助言者(コーディネーター) 滋賀県教育委員会事務局スポーツ健康課 指導主事 岩 崎 信 子
第4課題	心の健康	1 奈良県立平城高等学校 養護教諭 村 上 理 英 子 2 山口県宇部市立西宇部小学校 教 諭 池 上 紀 子 3 香川県高松市立牟礼中学校 養護教諭 榎 並 美 緒 スクールソーシャルワーカー 浜 田 知 美	○講 師 京都大学大学院 教 授 十 一 元 三 ○指導助言者(コーディネーター) 鳥根県教育庁保健体育課 指導主事 荊 尾 玲 子
第5課題	性・エイズ教育	1 高知県高知市立横浜小学校 教 諭 岡 村 涼 子 2 石川県小松市立中海中学校 教 諭 近 藤 幸 子 3 香川県立笠田高等学校 養護教諭 藤 川 章 代	○講 師 京都大学大学院 准教授 木 原 雅 子 ○指導助言者(コーディネーター) 栃木県教育委員会事務局健康福利課 課長補佐 橋 本 浩

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	保健管理	生涯を通じて健康の保持増進をめざす疾病予防と保健管理の進め方	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、学校や地域の実態、児童生徒の個々に応じた対策を講じる必要がある。 そのため、学校での疾病の予防等、適切な保健管理の進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 適切な健康診断の実施と事後措置、健康相談及び健康相談活動の進め方について 2 ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について 3 感染症（伝染病、食中毒等）の予防及び発生時の対応について
第7課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方	生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくための資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりをめざした学校歯科保健活動の進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の充実について 2 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について 3 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について
第8課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりをめざす学校環境衛生活動の進め方	快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、児童生徒が環境問題について自ら関心をもつことが必要である。 そのため、学校環境衛生の基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について 2 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組みについて 3 児童生徒が自ら取り組む学校環境衛生活動の在り方について
第9課題	安全教育	生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うための安全教育の進め方	生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命や安全を尊重するとともに、進んで安全・安心に貢献しようとし、自ら安全な生活を実践するための資質や能力を育成する必要がある。 そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した安全教育・安全管理の進め方について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校、家庭及び地域社会が連携した防犯教育・安全管理の進め方について 2 学校、家庭及び地域社会が連携した交通安全教育・安全管理の進め方について 3 学校、家庭及び地域社会が連携した防災教育・安全管理の進め方について
第10課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。 そのため、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育を発達段階に即して推進する方法について協議する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について 2 小・中・高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について 3 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者
第6課題	保健管理	1 滋賀県野洲市立野洲北中学校 養護教諭 川 端 典 子	○講 師 東京大学大学院 教 授 衛 藤 隆 ○指導助言者(コーディネーター) 東京都教育庁学務部学校健康推進課 課 長 寺 西 新
		2 香川県高松市立亀阜小学校 養護教諭 宮 西 節 子 学校医 三 宅 進	
		3 愛媛県立宇和島水産高等学校 教諭(前保健主事) 本 倉 保	
第7課題	歯・口の健康づくり	1 香川県三木町立白山小学校 教 諭 中 田 由紀恵 養護教諭 岡 裕美子 学校歯科医 蓮 井 義 則	○講 師 日本大学歯学部 教 授 尾 崎 哲 則 ○指導助言者(コーディネーター) 埼玉県熊谷市立富士見中学校 校 長 赤 沼 昇
		2 千葉県立柏高等学校 養護教諭 岡 部 初 子	
		3 広島県安芸太田町立戸河内中学校 養護教諭 松 本 五 月	
第8課題	学校環境衛生	1 香川県高松市立太田中学校 学校薬剤師 木 村 康 男	○講 師 兵庫教育大学 教 授 鬼 頭 英 明 ○指導助言者(コーディネーター) 東京都教育庁学務部学校健康推進課 環境衛生指導担当係長 富 田 広 造
		2 埼玉県川口市立芝東小学校 教諭(前保健主事) 管 野 光 三	
		3 鳥取県立智頭農林高等学校 教 諭 中 野 聡	
第9課題	安全教育	1 香川県土庄町立四海小学校 教 諭 八 木 広 毅 養護教諭 大 橋 茂 美	○講 師 東京学芸大学 教 授 渡 邊 正 樹 ○指導助言者(コーディネーター) 東京都足立区立千寿本町小学校 校 長 林 正 樹
		2 熊本県立御船高等学校 教 諭 吉 本 光 浩	
		3 愛媛県西条市立西条西中学校 教 頭 坂 井 親 治	
第10課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	1 徳島県鳴門市第二中学校 養護教諭 宮 田 かつ子 学校薬剤師 山 田 智 枝	○講 師 神戸大学大学院 教 授 川 畑 徹 朗 ○指導助言者(コーディネーター) 埼玉県教育局県立学校部保健体育課 主 幹 謝 村 錦 芳
		2 香川県立琴平高等学校 教 諭 三 井 千 壽	
		3 鹿児島県南さつま市立益山小学校 養護教諭 小 湊 恵美子	